

2022年度

vol.231

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741

URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部

■発行日／令和5年3月22日 発行

■印刷／株式会社横浜総合写真



Contents

■巻頭（校長）/各部情報（研究）	2P	■学年情報（中学/高校）	6P
■各部情報（国際/生徒/進路）	3P	■PTA情報/後援部情報/仕事塾	7P
■探究発表会/職場体験	4P	■トピックス	8P
■高校第41期生卒業	5P		

いのちの連鎖と次代へつなぐ震災の記憶

校長 中根 正義

約2万1000人の死者・行方不明者が出た東日本大震災から今年で12年目を迎えた。奇しくも、4月に入学する中学生から震災を経験していない世代になる。トルコ・シリア国境での大地震の惨状を見つつ、首都直下地震が危惧されるなか、私たちは自然災害とどう向き合えばいいのか。そんなことを考えながら、私はある知人のことを思い起こしていた。

その人物は宮城県気仙沼市でカキの養殖を営む畠山重篤さん（79）である。「森は海の恋人」の活動をしている方と説明したほうがよく分かるかもしれない。1960年代から80年代にかけて赤潮被害に悩まされていた畠山さんは「豊かな海には豊かな森が必要だ」と、89年から気仙沼の海に注ぐ川の上流部で植林活動を続けてきた。

「私たちは太平洋の海の恵みを分けてもらい生活してきた。豊穡の海を太平洋銀行と呼んでさ。ところが山が荒れて、化学肥料や農薬、汚染された家庭排水が流れてくるようになって状況が変わった。この運動は人の心にも木を植えることだったのよ」（畠山さん）

地道な活動によって、赤潮が消え、サケやウナギが生息する豊かな海が取り戻されようとしていた矢先、東日本大震災が発生した。高さ20メートルの津波でカキ養殖の筏は流された。畠山さんが住む地区の52軒のうち、被害を免れたのは10軒だけだった。介護施設に入所していた母親も失った。

震災から2カ月後、お見舞いのため畠山さんを訪ねると、

「海は死んだと思ったら、食物連鎖が働きカキが食べきれない位のプランクトンが海中にいることが調査で分かったのよ。川から森の養分が供給され、海はしたたかに生き返っている。森は海の恋人は真理だった」とほほ笑んだ。そして、「日本人は自然からの豊かな恵みを楽しむ一方で、自然災害を受け入れてきた。三陸地方には『津波てんでこ』という言い伝えがある。まずは津波をやり過ごし、命をつなぐことを考えないといけない」と話した。

その後、畠山さんの集落では高さ約10メートルの防潮堤計画が持ち上がったが、計画は受け入れず住宅の高台移転を選択した。「津波はこれからもやってくる。来たら逃げればいい。防潮堤のコンクリートは永遠じゃない。何よりも海と陸が分断されてしまう。これからは、この地域を森と海の関係が学べる拠点にしたい」と夢を語った。

畠山さんの例を持ち出すまでもなく、近年、強大な自然に立ち向かう防災ではなく、自然の力をしなやかに受け止め、リスクを減らす減災という考え方が注目されている。「困難な状況において、しなやかに適応していく能力」を指すレジリエンスにも通じているといえよう。

今年は関東大震災から100年の節目の年でもある。自然災害との向き合い方を振り返りながら、東日本大震災のことを知らない世代に、その記憶をどう継承していくのかを考える時期に来ているのではないか――。私は今、そんなことを思っている。

各 部 情 報

国際部

British Hills 研修を終えて

芝浦工業大学進学内定者の内、2名の生徒が特別奨学生としてBritish Hillsでの英語研修に参加しました。

3年3組

この度は、貴重な機会を頂きありがとうございました。福島県の雪深い森の中、ハリーポッターに出てくるような英国の建物で英語に触れました。スヌーカー（ビリヤードの仲間）や心理学の授業、他校の生徒との交流などとても楽しく忘れられない3日間でした。教科書の中の英語では得られない外国人の先生方との自然な英語のやりとりがとても面白く感じました。そして、その経験が英語力上達の為に大切だと改めて思いました。

3年3組

2月3、4、5日の3日間、福島県にあるブリティッシュヒルズという施設に研修に行きました。そこではカフェに行つてイギリスの料理を体験したり、英語で授業を受けて、統計学や心理学、イギリスで人気のスヌーカーというスポーツについて学ぶことが出来ました。また食事コース料理でローストビーフなどを食べることができました。現地で友達を作ったり、英語での生活に触れることができ、いい経験ができたと思いました。



進路部

進路部情報（卒業生進路講演会）

2月15日（水）に中高の希望者を対象とした卒業生進路講演会「国家公務員（公正取引委員会）の仕事とキャリアプラン」を実施しました。この講演会は内閣人事局の事業の一環で行われたもので、高校19期生の卒業生をお招きして、現在の仕事の内容や国家公務員を志望したきっかけ、高校生活についてお話しいただきました。講演後は30分以上質問が途切れることなく、最後は自己アピールの仕方についての質問もありました。「創造性の開発と個性の発揮」には自ら動くことが必要です。次年度もたくさんの進路開拓に向けた講演会が予定されていますので、積極的に参加しましょう！



夏期短期留学ホームステイ説明会

2月25日（土）本校グリーンホールにて、夏期短期留学ホームステイ説明会が行われました。グローバル意識の高い生徒・保護者合わせて約450名が参加しました。2023年7～8月に渡航を予定しているイギリス・オーストラリア・アメリカ・カナダの4か国へのホームステイプログラムについての説明があり、今年度このプログラムに参加した生徒がそれぞれの国での体験談を話してくれました。今回の説明会は、例年以上に参加者が多く、質疑応答も活発に行われ、海外留学に対する意識の高さが伺われました。このホームステイプログラムをきっかけに海外大学への進学を決め、現在イギリスやオーストラリアで大学生・社会人として活躍している芝柏卒業生が多数います。



生徒部

第21回 中学合唱祭

2022年12月21日 第21回中学合唱祭が行われました。一昨年度はコロナウイルス感染予防のため中止、昨年度は同様の理由で本校グリーンホールにて無観客での開催となりました。そして、今年度は松戸森のホール21にて有観客での合唱祭を開催することができました。外部の音楽ホールで実施できるのは実に3年ぶりで、中学生全員が初めての経験となりました。

練習期間では意見がまとまらずバラバラだったクラスもありましたが、徐々にクラス一丸となることができ、どのクラスも素晴らしい合唱だったと思います。ステージで緊張しながらも堂々と歌っている姿にはとても感動しました。

また、舞台裏では合唱祭委員会の生徒たちが、中学3年生を中心に頑張っておりました。松戸森のホール21での実施は全員が初めてにも関わらず、スムーズな進行ができており、とても素晴らしい運営だったと思います。4月の時点では「本当に有観客で実施できるのか？」

国際部キャリア教育「21世紀を生きる」

2022年12月3日に中学3年生を対象とした、国際部主催のキャリア教育講演会を実施しました。今回は毎日新聞論説委員の方をお招きしました。中学3年生にもわかりやすくお話をしていただき、今私たちが置かれている状況を踏まえて、20世紀の負の作用を見つめながら、2100年という未来に向けた持続可能な活動についてお話をされました。また、元村氏自身の取材経験のお話や大学時代のエピソードを含め、「夢中になれるものを見つけよう」というお話もあり、生徒も身近に感じることができました。講演会終了後も元村氏に積極的に質問し、ジャーナリズムに興味を示す生徒もいました。



各 部 情 報

研究部

SSH ベトナム研修

SSHの目標である「国際的な科学技術人材育成と持続的な研究機関との連携」に基づき、1月初旬、ベトナムハノイにて研修を行いました。現地で活躍している日系企業のIHIや琉球ガラス工房、現地IT企業などを訪れ見識を深めました。また、ベトナムのFPT高校を訪問し、共同研究やスポーツ交流を通して親睦を深めることができました。現地の高校生との会話はすべて英語でしたが、最後は名残惜しさでなかなか出発できないほど、友情を育むことができたようです。最終日には世界遺産のハロン湾を訪れ、水質問題について現地の資源局の方から貴重なお話をいただき、環境問題について考えることもできました。「ベトナムの旧正月を肌で感じる事ができた」「FPTのみんなだいすきー！！本当にありがとう！！」「忘れられない貴重な時間を過ごすことができました」（参加者の声から）

山階鳥類研究所との連携協定締結

本校と地理的に近い山階鳥類研究所と教育連携協定を締結しました。12月初旬にその記念すべき1回目の講演が実施されました。講演内容は「生物多様性の保全ってなに？－奄美大島のオオトラツグミを例に考えてみよう」で生の研究者から直接お話を聞ける貴重な機会となりました。生徒は普段なんとなく大事だといわれていた生物多様性がどういった理由で必要なのか真剣に考える良い機会となったと思います。今後の連携企画も楽しみです。



間身体性としての存在

2/18（土）に教員による研究授業・生徒による探究発表会が実施された。100名近い教育関係者が来校し、生徒・教員共に各々の探究の成果を表現しつつ、活発な議論が展開された。実に3年ぶりとなった対面での開催である。オンライン上のコミュニケーションには、触覚や嗅覚といった人間の原初的な感覚が介在する余地がない。必然的に、五感を統合させる過程で生じる共通感覚が失われていたことに今更ながら気づかされることになった。研究授業の検討会が実施されたカフェテリアも、探究発表会が開催された体育館も、その本来の機能とは異なる動的な言論空間へと変貌を遂げた。自己と他者とが互いの存在を認め合う間身体的な場においてこそ、生徒の創造性と個性が花開くのだとすれば、生徒を下支えする教員も、「命懸けの飛躍」を通じて他者の他者性と向き合いながら、絶えず自己を刷新していく覚悟を持たねばならない。

探究発表会



職場体験



高校第41期生卒業



送辞（抄）

生徒会副会長

城址公園から吹く風に、春の訪れを感じられる事となりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルスと共に送る学校生活を強いられ、各行事が縮小せざるを得ない中でも、たくさんの思い出を作られたことと思います。球技大会や増穂祭では、逆境に負けずに素晴らしい行事を作り上げていく先輩の姿に、いつも驚かされました。部活動では厳しくも優しい先輩方に恵まれ、多くのことを教わることができて、充実した時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。これからそれぞれの道に進んでいく先輩方ですが、時に立ち止まってしまうことがあるかもしれません。そんな時こそ、高校生活の思い出が再始動の一步になってくれるはずです。思い出を大切に、これからも頑張ってください。先輩方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

答辞（抄）

41期卒業生代表

3年前の4月、コロナ禍で始まった高校生活は、何をやるにしても3密の回避が呼びかけられ、活動が制限されたり、行事が中止になったりと、とても歯がゆい思いをしました。しかし、コロナ禍でも文化祭、球技祭、研修旅行などの行事を、工夫して、協力して実施してくださった、先生方や同級生のみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。思い出を作ってくれてありがとう。行事に限らず、勉強や部活を、一生懸命頑張る、時に迷ったり後悔したり反省したりしながらも、決して立ち止まらずに進んできました。そんな私たちは後輩からはどのようにみえたのでしょうか。私たち3年生がやってきたことには良い見本も、悪い見本もあったはず。ぜひ良いと思ったものだけを取り入れてほしいと思います。そして、4月からよりよい芝柏の高校生になれるよう、頑張ってください。私たちは4月から新たな一歩を歩み出しますが、この芝柏の充実した3年間を糧にして一層頑張りたいと思います。高校41期生を代表して改めて感謝の気持ちを述べたいと思います。長い間ありがとうございました。

高校三年生を送る会

3月1日に高校三年生を送る会を実施しました。卒業式の前にオンライン形式で実施し、高校生活を振り返る写真、部活動での思い出や部活動の後輩からのメッセージ動画を視聴しました。最後に、在校生から花束の贈呈があり高校三年生を送る会が終わりました。卒業式を翌日に控え在校生と関わる最後の機会になり、高校生活の思い出を振り返ることのできる良い機会となりました。



学年情報

中学 1 年 格物・致知

2022 年度の終わりに生徒の皆さんには学年目標の「格物致知」について振り返ってもらいましたが、1 年目ということもありこの言葉の実践・理解ともに難しく感じている生徒もいるようで、旧来型の学力（知識）と結びつけてしまっているような振り返りがいくつも見られました。新渡戸稲造の「武士道」に「知識はこれを学ぶ者の心に同化せられ、その品性に現われる時においてのみ、真に知識となる」「知識そのものは道徳的感情に従属する」とあります。知識を得ることは格物致知の道ではなく、その知識を用いる上で必要な「道徳的判断力」を高めることが「致知」の本来の意味となります（知的判断力と意識しすぎてしまったことを反省しております）。学年全体としては幼さがやや目立ちますが、一方で格物致知を本来の意味でとらえ活躍・活動している成長著しい生徒もあり頼もしく感じています。

高校 1 年 いよいよ高校生活本番です！

日頃より学年の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。4 月からはいよいよ高校 2 年生。高校生活本番です。今後の自分の人生を見据えて自ら選択した、文理分かれての学習になります。今まで以上に専門的で高度な学習内容になりますが 15 年後の自分の姿を思い描いて、物事をポジティブに考えて楽しみながら高校生活過ごしてもらいたいと思います。また、行事、生徒会、部活と学校の中心的な立場になりますが自分を成長させるチャンスです。仲間と協力して学校を盛り上げていきましょう。

学年団は彼らの考えを尊重し前向きな声掛けをして、共に歩みたいと思います。保護者の方におかれましては、学習や進路の悩みから体調や気持ちの変化が起こりやすい時期でもありますので、お子様の体調をはじめ何か気になることがありましたら連絡を頂けたらと思います。引き続きよろしくお願い致します。

中学 2 年 誠意正心

23 期の中学 2 年が終わろうとしています。保護者の皆様、今年度も大変お世話になりました。振り返ると、6 月の山梨研修に始まり、先日の職場体験まで、多くの行事を生徒達はこなしてきました。特に秋シーズンは、多くのタスクを同時に処理していかねばならず、ストレスも大きかったと推察します。それでも元気に学校に通ってきてくれていること、本当に有難く頼もしく感じています。そんな中、1 月には 3 年 0 学期集会を行ない、自分たちの将来を見据えた学びの大切さを伝えました。2 月の職場体験ではその一環として、集団の中での個の動きが学べたと思います。生徒の書いたお礼の手紙を読むと、「誠意正心」という言葉の意義、普段の生活ではなかなか学びえないのですが、しっかり感じてくれたと思います。

4 月からはいよいよ最上級生。どんな活躍をしてくれるかを楽しみにしております。

高校 2 年 限界をつくらない一年を

1 月 7 日に「高校 3 年 0 学期集会」を行い、校長先生からの激励の言葉で 2023 年がスタートしました。受験本番まで 1 年を切った 1 月 24 日には共通テストに挑戦し、現在地と目標地点を確認しながら、受験生としての覚悟を決め、一步を踏み出しました。また、この 2 年間実施できなかった合唱祭も、学年レクリエーションの形で 1 月末に実施しました。選曲、曲紹介などすべてにクラスの色が出ており、かしこまりすぎない緩さも学年レクとして心地よいものでした。その後のスポーツレクも企画・運営のすべてを生徒たちが完璧に行ってくれ、忙しい時ほど我々の想像を超えてくれる 42 期生の「POWER」にあらためて感心しました。受験期だから・・・とか、テスト前だから・・・ということなく、幾度も我々の想像を超えてきた 42 期生。それぞれが限界をつくらずに持つ力を発揮できるように、最後の 1 年をしっかりと見届けたいと思います。

中学 3 年 修身・齐家・治国・平天下

コロナ禍に翻弄された中学 3 年間でしたが、新たなステージへと歩を進める時を迎えました。保護者の皆さまには、これまでのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、「大学」第一章の所謂「三綱領八条目」には、道徳的人格の完成が君主の必須条件であり、大学での学びの究極目標であると説かれています。これを現代の教育に照らして、「格物・致知」《学問探究精神の習得》と「誠意・正心」《思いやりと誠実に溢れた人間性の涵養》を通じて、一人ひとりが「修身」《智慧と人格の陶冶》することで、「齐家・治国」《家族愛・隣人愛と平和的生活》を築き、「平天下」《更には広く社会貢献を果たしてゆく》と換言しても差し支えないでしょう。

芝浦柏でのこれまでの 3 年間とこれからの 3 年間が、生徒諸君にとって真にそのような成長深化の時間であることを、願ってやみません。

高校 3 年 Commencement

3 月 2 日、高校 41 期生 308 名は無事卒業式を終え、新たな世界へと旅立っていきました。これまでご支援いただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。また、学校生活の様々な場面で支えてくれた後輩の皆さん、ありがとうございます。皆さんの拍手の中で凛々しく、そして少し照れくさそうに退場して行く卒業生を見ることはできませんでしたが、それぞれの心の中に先輩との思い出が刻まれていることを切に願っています。

さて、私もひとつの大きな仕事を終えました。どこもかしこも不完全で、晴れやかな気持ちとは言えない自分がありますが、卒業生とともに新たな世界での始まりに向けて始動したいと思っています。

もう声の届かない卒業生の皆さん、新たな始まりにおめでとう。誠実に、ひたむきに。



P T A 情報

2022 年度 PTA 活動報告

PTA 会長

本年度の活動状況報告

本年度の P T A 活動は、昨年度までの制限活動を終了し、保護者の皆様、先生方のご協力の下、概ね平常年度の活動を実施することができました。

P T A 年間行事の状況

全体行事は、9 月に増穂祭、11 月に文化講演会を実施しました。

増穂祭は幹事を中心に活動し、文化講演会では文化委員を中心にした活動で、学年を超えた交流も生まれ協力し合いながら活動を行う事ができました。

P T A 学年活動（全体）

各学年代表を中心に、クラス懇親会を 2 年ぶりに開催し、先生・保護者とのクラス毎の交流することができました。

学年活動（卒業学年）

中学 3 年生は「すだちの会」、高校 3 年生は「卒業を祝う会」の準備を行い、実施する予定となっています。

仕事塾

高校 2 年生（7 月）、中学 3 年生（2 月）を対象に、保護者・O B などがアドバイザーや講師をつとめる学校のキャリア教育支援活動です。

各アドバイザーは、自身の仕事の概要や楽しさ、大変さ、学生時代にやっておいたことが良い事など生徒の質問に応えながら伝えることができました。

花壇整備活動

毎月 2 回程度の開催を予定通り行いました。例年以上に多くの参加があり、学年を超えた交流も生まれ活発な活動を行いました。

学年代表 活動報告

中学 1 年

この学年は小学生の最後をコロナ禍で過ごし、多くの行事を自粛しながら行った学年です。中学に入り、増穂祭や運動会など今年度はたくさんの行事に取り組む事ができ、子供達の生き生きした姿を目にしました。また、保護者の親睦会も開催できたので日頃の様子を知る良い機会に繋がりました。幹事のメンバーの方が何事にも協力的で、行事への参加がスムーズに行われた事に感謝します。1 年間ご協力頂きあり

後援部情報

2022 年度 後援部活動報告

P T A 後援部部長

後援部は、PTA 会費の一部を生徒や教職員の教育環境に役立つよう、どのような支援をするか検討し、実行していく役割を担っています。その為、主に施設・設備並びに教育用備品に関する支援について、中長期的視点をもって検討を行っています。

本年度は、エアロバイク、サッカー部審判用品、水泳部パーテーション・ロッカー増設、吹奏楽部楽器修理、課題研究活動ポスター展示設備、中央棟ビロティ天井塗装、図書管理システム導入等を実施しました。本年度検討を重ねてきた簡易充電設備は、全館導入に向けた検証を開始しています。また増穂祭で出展した「後援部カフェ」は、施設・設備に関する沢山のご意見を頂戴しました。来年度も老朽化した備品・設備や新しく必要と思われる物の支援の検討を行い、快適な環境で学校生活を行って頂けるよう活動してまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を頂きたく、宜しくお願いします。

仕事塾

中学 3 年生「仕事塾」実施報告

2 月 25 日（土）に第 31 回仕事塾を中学 3 年生対象に行いました。

講演して下さったアドバイザーは 9 名です。公立中学校教員、広告・マーケティング、システム開発会社、司法書士、製薬会社、薬剤師、化学系メーカー研究開発職、電気技師、公認会計士・税理士などの業種の方にお話しいただきました。質問含め 30 分×3 回を実施し、生徒たちが興味深く受講していました。運営ボランティアの方 3 名にもご協力いただき滞りなく実施することができました。

アンケートでは生徒たちから「将来や大学進学に向けての刺激になった」との声も数多く寄せられました。アドバイザーの皆様、ボランティアの皆様ありがとうございました。



新聞切り抜きコンクール

新聞切り抜きコンクール 6名が表彰

今年度も中学2年生が東京新聞主催の第19回新聞切り抜き作品コンクール中学生の部に参加致しました。結果、優秀賞に中2女子1名が、入選に中2男子1名女子3名、努力賞に中2男子1名が入賞しました。2月19日には東京新聞本社で、優秀賞の生徒の授賞式がありました。僭越ながら指導教諭として、私も表彰して頂きました。昨年11月の授業参観週間には授業の取材をして頂き、また、全国800近い応募作品の中で、唯一新聞のデジタル版を使用したことで、生徒が先日取材を受けました。新聞購読者が減少する中、本校社会科の取り組みが注目されるのは、本当にありがたいことです。



中学作文コンクール

おもいをかたちに

◆中学3年生の松崎春希さんが、読売新聞社主催「第72回全国小・中学校作文コンクール 中学校の部」で千葉県最優秀賞を受賞しました。受賞者インタビューは2022年11月11日付読売新聞紙上に掲載されました。以下、松崎さんのコメントです。

『今年の作文は本当に頑張りました。』

6月くらいから構想を考え始めて何度も推敲して、提出日の朝まで作業をしていました。他の課題は全然終わらなかったし、ペンだこが悪化して数日間痛かったのですが、大きな達成感を得られました。

今作文を読み返すと、文部科学大臣賞を取れなかったのは当然だと思いました。それでも県の中では1番を取れたし、生まれて初めて新聞に載れたので良い経験になりました。ただインタビューの時緊張してスムーズに受け答え出来なかったのが、作文だけでなく話す事も上手になりたいと思います。』

中学卓球部

後藤 七夏さん1年生大会優勝！

中学1年生の女子生徒が昨年12月に行われました柏市中学校一年生大会女子シングルの部において見事優勝を果たしました。この大会は、柏市内の中学校卓球部に在籍している1年生が男女別でトーナメント方式で争う形式で行われています。彼女は1回戦から決勝戦まで全ての試合をストレート(5ゲームス1マッチの試合形式で1ゲームも落とさずに3ゲームを先取)で勝利し、見事「優勝」の栄冠を手に入れました。試合後に照れ笑いをする彼女でしたが、これからも練習を積み重ね、先輩たちも参加する大会での活躍も期待されます。



ラグビー部

ラグビー部活動報告

秋の全国大会予選としては実に8年ぶりに県大会準々決勝進出を果たし、春の大会に続き、2大会連続での県ベスト8となった。続く新人戦では、支部予選で柏中央に87-0、日体大柏に52-0で勝利し、県大会出場。本戦では千葉南に64-7、千葉東に52-5で勝利した。準々決勝では絶対王者の流経大柏に7-72で敗れ、力の差を見せつけられる結果となったが、チームは6月の関東大会出場を目標に練習に励んでいる。個人では、3年の男性生徒2名が千葉県優秀選手に選出され、賞状とメダルを授与された。また、U17千葉県代表選手として2年の男子生徒が選出され、関東都県対抗戦で群馬県代表チームとの試合に出場した。

スポーツ推薦のない本校では、常に部員不足に悩まされている。未経験者ばかりなので、気軽にグラウンドに見学に来てほしい。



水泳部

2022年度水泳部活動報告

【中学女子】全国ジュニアリンピック水球夏季出場(17回目)/春季出場(18回目:過去最高3位)・関東中学競泳出場(生徒1名)

【中学男女】柏市総体競泳総合優勝(18大会連続)・柏市新人競泳総合優勝(18大会連続)

【高校女子】全国ジュニアリンピック水球出場(12回目:過去最高4位)・U17/U15全国大会県選抜(高校:女子3名、中学:女子2名)

【中学高校男子】関東高校競泳出場(男子1名)・関東高校水球出場(11回目)・国体関東ブロック/U17/U15関東大会県選抜(男子中学生10名)・千葉県高校総体水球優勝(5回目)

屋根付き温水プールという恵まれた環境に多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、さらにランクアップを目指して練習に取り組んでいきたいと思えます。



吹奏楽部

第36回定期演奏会のお知らせ

下記の通り第36回定期演奏会を開催いたします。中高共に練習に励んでおりますので是非ご来場ください。

— 記 —

日にち:2023年4月23日(日)

開 場:14:30 開 演:15:00

会 場:柏市民文化会館大ホール

曲 目:

1. エールマーチ
2. 明日へ吹く風
3. 燦燦
4. ピレネーを越えて
5. マードックからの最後の手紙
6. メイクハーメイン
7. ウィーアー
8. メモリー
9. フレンドライクミー
10. アルセナール

その他:幕間のアンサンブル有り

入 場:無料、全席自由

詳細は部活のHPをご確認ください。